

同窓会だより

熊本大学教育学部同窓会
(平成27年)

同窓会活動について

同窓会活動や同窓会員の結びつきは、戦後の個人主義や経済の進展にもなつて希薄になる風潮がありました。しかし、最近ではその切り捨てたものに対する見直しがなされています。円滑な人間関係が難しくなりつつある今日、同窓生であることで、人生の様々な場面において、お互いの心が通じ合い、助け合えることが実感されてきたからでしょう。人は一人では生きられず、社会の中でみんなで一緒に生きていくものだと思います。同窓会はそのための大切な役割をもつものであります。

教育学部同窓会は創立以来様々な活動を続けています。今後とも、同窓会活動へのご理解と積極的なご支援を心よりお願い申し上げます。



(教育学部本館)



(五高記念館)

同窓会費はこのように使われています

皆様から頂いております貴重な同窓会会費は様々な事業に大切に使用させていただいております。主な事業は次の通りです。各事業の内容や予算・決算などについては、会報に掲載されている通りですが、運営すべての経費を見直し、徹底した緊縮財政で会の運営に努めております。最近の大きな変化として、3年前から在学中の学生を準会員と位置づけて会費の納入のご協力を頂いております。事業のうち「教育講演会・教職フォーラム」は私たちの後輩である学生のために新しく始めた支援です。これまで以上に経費節減に努め、適切で有意義な同窓会事業の推進に邁進して参ります。

おもな事業

- ・会報の発行 (毎年)
- ・総会・講演会開催
- ・分収造林事業
- ・慰霊祭
- ・母校への支援
- ・教育講演会・教職フォーラム
- ・各種の講習・講演への支援
- ・支部活動への支援
- ・学部と連携した就職対策事業への支援
- ・会員名簿発行 (4年ごと; 平成27年3月刊行)
- ・熊本大学連合同窓会活動 (熊本大学卒業生表彰など)

最近の講演題目と講師 (肩書はその当時のものです)

平成26年「藤田嗣治(レオナルド・フジタ) ~熊本を愛し、パリに愛された画家~」
村上 哲氏(熊本県立美術館学芸課長)

平成25年「マスコミから見た教育現場」

飯村直亮氏(熊本日日新聞社編集局文化生活部次長)

平成24年「東北地方太平洋沖地震と九州の地震」清水 洋氏(九大教授)

平成23年「ラフカディオ・ハーン ~ハーンの愛した学生たち~」
西川盛雄氏(熊大名誉教授)



第1回支部長会(平成26年度8月)



慰霊祭(平成26年度8月)



総会(平成26年度8月)



講演会(平成26年度8月)



懇親会(平成26年度8月)



教職フォーラム(平成26年度8月)



熊本大学卒業生表彰(平成26年度8月)



会報87号(平成26年度)